学校番号	1004

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎「明日の生活を築く」　（開隆堂）						
副教材等	トータル・データ家庭科ガイドブック（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実験・実習やワークショップなどを活用して、生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力を身につけます。
・家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち､その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに､実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし､その解決をめざして思考を深め､適切に判断し､工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉､衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 発表 自己評価	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 発表 自己評価・相互評価 定期考査	学習状況の観察 ワークシートの記述 作品・レポート 発表 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート・発表 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="7">1学期</td><td rowspan="2">青年期の自立と家族・家庭</td><td>青年期の自立</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="7">a:青年期の生き方や、家族・家庭の意義、高齢者の生活などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
b:青年期や、家族・家庭と社会との関わり、高齢者の生活、共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。
c:事例研究などを通して、青年期の生き方や、家族・家庭のあり方、共生社会について検討する技術を身につけている。高齢者と適切に関わることができたり、高齢者の自立生活を支える技術を身につけている。
d:青年期や、家族・家庭と社会との関わり、高齢者の生活、共生社会と福祉などについて理解し、人の一生を自分の課題として捉えるための知識を身につけている。</td><td rowspan="7">授業観察
ワークシート
定期考査
レポート
発表
自己評価</td></tr>
<tr><td>家族・家庭を考える</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高齢期の生活</td><td>高齢者の生活と課題</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>高齢社会を生きる</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">共生社会における地域や家族</td><td>リスクに備える</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>高齢者と子育てへの社会的支援</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>共生社会に向けて</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2学期</td><td rowspan="2">着る</td><td>被服の機能と着装</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
b:衣服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。
c:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身につけている。
d:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。</td><td rowspan="2">授業観察
ワークシート
定期考査
レポート
作品
自己評価</td></tr>
<tr><td>被服の管理と計画</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

2学期	子どもの発達と保育	子どもの発達と生活	○	○		○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり、子どもの健やかな発達を支える技術を身につけている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査 発表 自己評価 相互評価
		子どもの育つ環境	○	○	○	○		
	食べる	食生活の課題	○	○		○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を、日常食の調理実習を通して身につけている。 d: 栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて、実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査 レポート 自己評価
		食品と栄養		○		○		
		食品の選択と保存	○	○		○		
		食事を調える	○	○	○	○		
		調理実習	○		○	○		

冬休みの課題	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブについて関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探求し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトを実践することができる。 d: ホームプロジェクトの実践に必要な知識を身につけている。	レポート 発表 自己評価 相互評価
3学期	住まう	さまざまな住まいと暮らし方	○	○		○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身につけている。 d:住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査 発表
		安全で快適な住まい		○	○	○		
		まちづくりと住まい		○	○			
	消費者市民として生きる	生涯の経済計画とリスク管理	○	○		○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について考え、工夫している。 c: 消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身につけている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理・生活設計のために必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査 発表
		消費行動と意思決定		○	○			
		持続可能な消費		○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。